



相手校は常にパスを回すことを意識してプレーしているように見受けられました。

また、攻守切り替えがありオフェンスになってからフロントコートに行くまでにかかる時間が短く、選手一人一人の動きがはやかったです。

本校もチームプレーと早いパス回しができるように日々練習していきたいと思います。

本校はスリーポイントのシュート成功率高く、2戦目では相手校にファーストポイントをとられてしまいましたが、その後スリーポイントを決めきりすぐに追いつくことができました。

どの試合でもオールコートでディフェンスをついていたのでボールを運ばせるのに時間をかけさせることができました。本校のチーム方針であるハードワークを実践できたと思います。

ですが、オフボールの動きがとまりパス回しに時間がかかることがありました。選手一人一人が周りをよく見て、より積極的に動けるようにしていきたいです。

また、相手校にオフェンスリバウンドを取られることが多くありました。ベンチからスクリーンアウトをしっかりしようと声掛けがあり、その声で選手もスクリーンアウトをしようという意識が生まれてきました。ベンチからの選手の声掛けは試合出場している選手にも届くので、これからもたくさんの声掛けができると良いと思います。



相手校は、パス回しを多く使ったチームプレーで攻めていました。また、ミドルシュートの成功率が高く簡単に決められてしまうシーンが多く見られました。本校は1on1など個人でのプレーが多かったのでチームプレーで冷静に判断できる点を見習いたいと思います。

本校は、前から詰めて粘り強いディフェンスができたのが良かったです。最後の方は特にハードなディフェンスで東大和の流れをもってくることができました。

ベンチの盛り上がり・試合の雰囲気良く、その点でも東大和の流れをもってくることができました。

しかし、オフェンスでちょっとしたミスが多く見られたので、普段の練習からミスをしないように意識し、キャッチボイスや声を掛け合うことが大切だと思います。また、全体的にリバウンドを取られすぎていて、ディフェンスリバウンドから相手校のセカンドチャンスに繋がってしまうこともあったので、しっかりとアウトをするなど、改善していく必要があると思います。

速攻が遅いという点も課題となっています。

ですが、ベンチからの意見も共有することができたので、1試合目で課題となっていた速攻が遅いという点を、2試合目では改善することができ、点を離すことができました。

ディフェンスに戻るのが遅いため、1線で抜かれてしまいカバーやローテーションが遅れてしまう場面も多くなりました。3線を意識することで改善されると思います。

良かった点は継続し、改善点は練習から意識して変えていけると良いと思いました。